

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

会長 荒井信弘
幹事 中村直弘
会報 佐藤陽二

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日：毎週木曜日 12：30～13：30



2019年 2月 21日 第2186回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【会長あいさつ】

荒井信宏会長



皆様、こんにちは。

2月15日に越谷青年会議所の2019年度新春賀詞交歓会に越谷南ロータリークラブの会長として参加して来ました。本日はこの会に参加した感想と今後の抱負についてお話ししたいと思います。

開催場所は当クラブが5月25日、45周年記念式典を行う北越谷のギャザーホールです。会員の皆様も何度も利用したことがあると思いますので、想像しながら聞いて頂ければと思います。私が到着して1階ロビーに入ったら理事長を初め数人の方がお迎えに出ていました。螺旋階段を昇って会場ル・エクラに入るまでの間、何十人もの会員がお迎えに出て挨拶をして下さいました。受付をして指定の座席までも担当の会員が案内してくれました。

点鐘前に、越谷北高校の学生のお琴の演奏がありました。音色がとても素晴らしく穏やか気持ちになりました。その後点鐘、開会宣言、JCソング斉唱、JCクリード、JCミッションの唱和その他いくつかの唱和が続きました。かなり長かったのですが、全て別の会員が元気で思いがこもっていたので、これも良かったと思いました。

そして来賓の挨拶の後はスクリーンにて直前1年間の例

会・数々のイベントの様子が流れました。その中で、昨年末にJCを卒業した当クラブ中村幹事の姿が幾度となく写し出されていました。

情熱をもって、JC活動に取り組んでいたのだと感じました。改めて卒業おめでとうございます。

そして新理事長の挨拶がありました。2019年度スローガン「地域の誇りとなる青年であれ」を中心として新年度を迎えるにあたっての思いやJCの存在意義等について18分間、語り続けました。強い気持ちが入っていて、素晴らしい挨拶でした。何よりもびっくりしたのは全て暗記して、話したという事です。

その後、乾杯、やっとな食事タイムとなりました。歓談後に役員紹介があつて締めとなりました。会場を出てから1階ロビーに行くまでの間列を作っていた全ての会員からお礼の挨拶がありました。最後までとても心地よい気持ちになりました。

今回の経験から学んだことは、お客様がギャザーホールに入ってから出るまでの間おもてなしの心を持ち続けること、そして越谷南ロータリークラブの奉仕事業等への思いを伝えることです。

会員の皆様、力を合わせて45周年記念式典を成功させましょう。

【幹事報告】**中村直弘幹事**

- 地区より第2回 1000 日会員の集いのご案内が届きました。3月2日(土)、パレスホテル大宮にて、17:30 受付、18:00 点鐘、20:00 終了の予定です。ご参加希望の方は2月19日までにご連絡ください。
- 川口モーニング RC より、第27回アイメイト(盲導犬)寄贈チャリティゴルフ大会のご案内が届きました。4月8日(月)、プレステージ CC で開催されます。参加費は7,000円、プレー費13,000円です。ご参加希望の方は2月28日までにご連絡ください。

【地区委嘱状贈呈式】**荒井信宏会長**

浅水 PG、地区の役職は
諮問委員、業績顕彰委員、指名委員、国際大会推進委員長
海員増強維持部副担当諮問委員。



中島会員 地区の役職はクラブ活性化委員

**小池会員 地区の役職は地区副幹事****【韓国学生訪日団受入報告】**

深井会員、和田会員、小林光蔵会員



①来日期間：2019年2月8日～13日(5日間)

②2月8日(金) 学生の出迎え

深井、荒井会長、小林(光)会員、仁多見委員長の4名で仁多見会員の車で会場の川口駅西口リリアに行き訪日団の対面式に出席した。

今回は男子学生3名で小林(光)会員がホストファミリーを引き受けて頂き、同氏と対談して対面式の際に我がクラブあがての歓迎の意思表示として大きな横断幕を掲げて迎えました。地区役員もびっくりしていましたが、感激していましたし、会場の他のクラブも次回は自分のクラブもしてみたいと言っていました。垂れ幕には3名の名前が記入されています。

③2月10日(日)地区インターアクト協議会に出席のため荒井会長、深井、3名の韓国学生が伊奈町埼玉県民活動センターに向かいました。会場には越谷南ロータリークラブがスポンサーしている越谷南高校のインターアクト部の生徒も大勢出席していました。

発表会には日本の学生による琴の演奏と、管弦楽の演奏がありました。少し寂しい感じがする発表でした。韓国学生の発表は、現代のダンスで、おそろいのTシャツでとても活動的で元気よく演出していました。日本の学生との差の大きさがとても感じられました。



2月8日より13日まで、韓国より交換留学生を受け入れ致しました。

2月9日 ディズニーランドを訪問しました、生憎雪が舞う悪天候でした。アトラクションも少ししか乗れず残念でした。翌、10日は伊奈町の県民活動センターへ、11日は小林光蔵さんご夫妻の案内で観光を、12日には、越谷南高校へ訪問、高校生同士で親交を深めました。夜は、当クラブにて送迎会を行い13日帰国となりました。昨今、日韓関係が悪化しておりますが、本事業は、将来の両国の関係改善にきっと役立つものと期待しております。

【米山記念奨学事業について】 岡田米山記念委員長



1953年「米山基金」募金開始以来
東京ロータリークラブ単独事業から日本全国の共同事業へ
1967年には(財)ロータリー米山記念小学会が設立されまし

た。この事業は日本全地区によるロータリーの多地区合同活動で有り皆様からのご支援で成り立っています。

《事業規模》

2018年度奨学生は852人 事業費は14億円

2019年度奨学生は850人

これまでに支援した奨学生数は累計で20,396人(20187月現在) その出身国は世界127の国と地区に及びます。

《特徴》世話クラブ・カウンセラー制度

顔の見える交流を大切にしています。

奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役を務めています。

奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動に参加しロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。したがって米山奨学生には奨学金を受け取るだけでなく交流を大切にする姿勢が求められます。

次の世話クラブになれる為にも皆様のご支援宜しくお願い致します。(ロータリー米山記念奨学事業豆辞典より抜粋)

【スマイル報告】

お陰様で

スマイル 22件 21,000円

累計 1,204,500円

松本、中島、浅水、飯泉、加藤、小池、和田、神谷

小林、深井、岡田、瀬尾、中内、奥村、染谷、深沢

中村、長澤、濱野、赤松、石川、荒井

ありがとうございます。

【出席報告】

例会日	平成31年2月21日		
会員数	47名	出席	25名
出席免除者	5名	欠席	22名
出席率	43%	前々回MU	名
MU修正率	%	会報担当	

